



神經大好闖大後年十分神經大は福井とボンシン^{シム}。チエニジした皆木から右へ腰杆にまわせは腰杆好センターリングし腰杆飛び込んでツディングシユートなる

惜しい神経大

関大思わぬ苦戦に引分

關西學生

大	【神經大】	神經大	でもある矣後であつた。(天祐明)
G	K	神經	大
F	B	大	3.21.2.3. 関
H	B	原田木水江村	大
E	W	森木木	大
C	K	蘇門三阿彌多福智	大
G	G	普福	大
C	K	指福	大
G	G	指福	大
C	K	指福	大
G	G	指福	大

慶大善戦して引分け

其高田の背後に併れて球名多木
拾つて切れる氣味にドリブル前進し
たいたOH山形これを追つたがコ
スも悪く周多木は左を回りドリブル
ミスクリクしたが皆木拾つてショート
GK納に当つたがついて決して解説大
のリードとなつて、26分鶴見は福井
関東大学サッカートリーグ最終日は二
十一日午後零時十五分から神宮第一
ルドで明大対千葉医、早大対慶應の二
試を舉行、明大は千葉医を一方的打破
つたが、早慶戦は引分けに終つた。こ
れで今シーズンのリーグ試合を全制終了
し、試合後五年ぶりに優勝した東大が一
レブンに優勝ガーナが優勝された。

I G K 獅の力で、かたづけた野球 H I 音木から L
I 小駄に回したが小駄は震のリターン
I のおどりどころをひつてロングショ
I ートこれを見事決つて同点。その後
I 神経大は右サイドから直走ばかり好
I 機があとすれながらいもれも音木村
I のミスキップでこれを逃したのは惜し
I い。しかし10分神経大はCFにわ
I かづった皆木からのPで震村に回しその好セ
I ナターリングで左Yボランショ・チ
I ベンジングの神経がハーフラインで決め
I 再びリードすれば阪大も12分H山村
I からD山形遠投大差を回しショートG
I 車のこぼした球をD山形で拾めてま
I たも同点。しかしながら17分神経大は自陣で
I R1多木猿いハーフラインに跳つてい
I たO P木田に出手せば皆木C山形を打
I こみにすかしながら球を流してドリッパ
I ル、これを追う山形はさりげなく飛び出
I したG K 獅の爆走で見事なショー
I 上で決め三連リード。このじるから震
I 大は動きがなくやや立派な球とつなげ
I 対し神経大は用実に動きこのまゝ押し
I 切るがと思われたが、最後の闘火線攻
I 撃に40分ついにゴール前混戦からL

終った。神経大は全員協力美力する十二分に出しきつた戦いであり、闘大は、WBCの寄せの拙劣さで、バックスの前進で、傭木の生歎を現わす苦戦を演じたといふべきであつた。それにもしても神経大はG級の二度辱辱を嘗め、改めてほ3-1トリードした時、山形の背後をついたファイドを残して、了舊木が拾つて再び同じ懸権でドリブルショットを決めるかと見られたのを失したのは勝機を逸したといふらしく、一矢リードしていくつも氣をゆるして見られ惜しん

大	【神經大】	神經大	でもある矣後であつた。(天祐明)
G	K	神經	大
F	B	大	3.21.2.3. 関
H	B	原田木水江村	大
E	W	森木木	大
C	K	蘇門三阿彌多福智	大
G	G	普福	大
C	K	指福	大
G	G	指福	大
C	K	指福	大
G	G	指福	大

S23-12-4



関学対神経大リ前半10分間石川一・ギックを鷹田ヘッドティングでシートで決める

ついでリード。しかし26回開幕のG田の右サイドからのロングショットで好セントラーリングし、これで西村トーナメントを終えた。Gは納ハブルとして前にこぼしたところを工藤とびんで決め同点とした。関大は40分逆襲。小崎、左に切れて好セントラーリングし、これで西村トーナメントを終えた。リーンシートしたがGK松田の好投に好機を逃す。これに対し関学は40分CKのこぼれ球を井手決めて勝利を確保した。GKの差が勝敗を左右した。となつたが、関大もつとでは不運な戦いといつてよからぬ。それにしても軍ともゴルダッタ・鷹田と和田を抑えきる力は強かった。何に使うかに興味があつたが、いざわざこれをあやまの好試合といはなかつてもう一つの足りりなさを感じしめた。

學に名を成りしめた、前半黙黙なが
も風上有利した闘大が压倒つゞけ
が唯一のゴルルゲッタ・和田が球を
やく放しすぎて失敗し、ものになら
かつた。和田の個人技をもつてそれ
十分闘争バックスを抜群得て放す
してもいま少しギアして闘学バックス
をつづいておいて出すべきであつ
一方闘学者ゴルルゲッタ・鳴田がか
りすぎたもの逆襲に移つた際過度に
筋筋でつなぎられ、5分闘学が逆襲二
田・鳴田、工藤と回し工藤フリーシ
ートしたがあがせて失敗したチャ
ンスひいては両軍とも決定的勝負を生
じに至らなかつた。後半に入つてから
両軍よく球をオーフンに回し競争で
熟明攻防戦を展開。最近の好成績とい
つた、24分闘大逆襲、小脇からの逆襲
和田と回し和田のドリブルショート一

關西學生
廿二

ツディングで決め、33分柴田がゴール前にあがけた球が山田がキックする(見せて)で競りまかせたため競り入ったがいずれも失点のものではなかった。前半の終りに向ひてはよやく(伊藤)が得点する(伊藤)につれて(伊藤)が失点する。

朝日招待サッカーリーグ予想



全慶大對全東大對全京大對全早大對全關學

8日

9日

伯仲の全早大、全關學

事實上の日本代表試合

全文理

宮本

大橋

天藤

堀江

宮本

大橋

天藤

天皇杯をかけた戦後三回目の東西対抗サッカーは、今年は場所を關西に移して十七日午後一時から西宮競技場で行われる。西対抗は絶対に關東の勝利と預想されたところ、關西はFWを全部學生で固め、パンクスも安堵を除いては若干手をそろえて体力をまかせて捨て身のはげしい動きをもつて対抗、關東のパンクスをふり回す作戦が當つて結局2-1の引き分けとなつた。第二回目の昨年は關西選手に故障があつて關東が勝ったのである。

◆…さてそこで今度のメンバーを見ると、調査西は一應成功した。昨年の戦法ではわざとさしてのをいわせて、ついでに走り回つて、闘東のすでに体力において絶頂をすぎた選手を疲れさせ、それに乗じて得点機をつかもうという。

東の技巧と西の體力

五角！終戦後最高の熱戦か

方法を探ろうとしているようだ
まずFWを見ると、學生からO Bになつたとはいへ右から鶴田（鶴學）、資川（神經大OB）、木村（闘學OB）、工藤（闘東OB）と、二昨年と同じくD LWに瀬戸の代りに鶴大の現役和田が入り、東大現役の大塚か、早大OBを見ると、調査西は一應成功しただけである。またH Bは昌田（早大OB）、杉本（闘學OB）とそのまゝのをいわせ、ついでに走り回つて、とにかく攻撃の面においても、闘東の体力において絶頂は息をつくひまもないほどのスピードで、とにかく攻撃の面においても、P D I I な戦いぶりを示すであろう。

東の技巧と西の體力

Bのベテラン加茂であることと、Bのアーチャー見ても人練度のもので、種々多様化もあり一寸の油斷もならぬ技。持ち主ばかりだ。しかし、岩谷が抜けて大勢が入ると加納とのコンビネーションに一抹の不安があり、その点加茂が入る文句なしに加納を生かし得るのであるが、体力的に難点があり關西の思うつぼにはまらないとも限らない、この点思い切って加納をLIIに回し東大OBの岡本をLWに入れ、一方がライムとしては整備され方が出来るのはいかと思われる。◇さて次に關東のHBを見る。と兩サイドの有馬（東大OB）と、兩サイドの有馬（東大OB）は相變らずだが、CがKにかつての早大の名手未だで行方の代は岩谷と、関野（早大OB）は相變らずだが、久しうりに出場するよう

OBは関東、學生は関西優勢

東西対抗サッカー予想 天

OBは關東、學生は關西優勢

東西対抗サッカー予想 天 署

戦前のOBは富山、二宮ぐらいのもので、關東と比して若さと体力においてはるかに優り、技においても、ほとんど劣ることはないまで接戦して來ている。しかししながらOBのペストメンバ一即ち全關東メンバともいいくべきチーム、すなはちFWでは右から篠崎、渡邊二宮(以上慶大)、岩谷、加納(以上早大)、HBでは有馬、横山(以上東大)、鶴野(早大)。

OBはFW線のバランスが良くて初出場することになつた、從つて昨年メンバ不足から11-0と大敗した關西OBも關東OBにそろ簡単に敗れるとは思えない。

關東の終戦時のOBは岩谷一人に對し關西は則武、賀川、木村、富山(關學)、工藤、瀬戸、H.B.(富田(早大)、杉本、黒津(東大)、F.B.岡村(關學)、一言(立教)、G.K.山口(京師)のうち終

OBはFW線のバランスが良くて初出場することになつた、從つて昨年メンバ不足から11-0と大敗した關西OBも關東OBにそろえて西下するから全く豫斷を許さぬ接戦となるう。

つぎに學生対抗だがこれは今年は兩軍ともメンバ不足にならんとしているようだ、關東のFW松永(文大)、高橋(早大)、大槻(東大)、上東大)、高橋(早大)又は菅原(慶大)に對し關西は鶴田(關學)又は藤村(神經大)、柴田(關學)和田(關大)又は鶴田(慶大)に對し關西は鶴田(關學)井上(關學)又は和田

英國サッカー協会のパリスキル
氏は十一日ニヨークで次の
ように述べてゐる。
英ブロードームが今夏訪米す
るが、これは米サッカーワー界に大
きな刺激を與えよう、米國兵士
は今次戦争中英國各地に駐留す
る間にサンカーリ接し、歸還する
や優秀なプレイヤーとしてサ
ッカーワー界にデビューした、現在
は五万以上のプレイヤーを有す
けども、百五十以上のリーダーが
在住する（ロイタ社共同）

アサヒスポーツ

4月23日号

ASAHI SPORTS WEEKLY

(昭和23年1月10日 第三種郵便物認可) 発行所 東京本社 東京都千代田区有楽町2丁目8番地 電話(28)131
(昭和24年2月25日運輸省特別承認第175號) 大阪本社 大阪市北区中之島8丁目8番地 電話(28)131
昭和24年4月23日発行 第616号 明日新聞 西部本社 小倉市砂津字富野口北880番地1 電話 2781

毎週土曜日発行
定 價 12 圓

S
24
4
23



GK中垣内の頭脳的プレー —右サイドへ巧みにクリヤーした一瞬—

右CKを得てRW瀬崎のキックは絶好のボールとなり関西CH杉本辛くもヘッディングに逃れようとしたが直上に上ったこれを一瞬GK中垣内ドッコ飛込み関東FWの逆をついて右サイドへ巧みにクリヤーしてその國際級GKの頭脳的プレーを示したところ、左からGK中垣内(西)CH杉本(西)CF三宮(東)LI大野(東)・RI賀川(西)撮影 岡本写真部員

古い世代が技術で制するか、若い世代が力で固いカラを破るか、戦後依然として老方にものをおいて来た関東に対し、若い関西がハツラツと挑戦した天皇杯争奪東西対抗サッカー戦は虚々実々サッカーのない、ご味を満喫させる好試合を開催、ついに若アコのような関西の動きは技を制し見事4-2と老練を破りサッカーの前途に明るい光を投げた、この写真は前半十分巧みなパスに攻込んだ関東は

關西、若さの力で勝つ

関東FWの起用を誤る

天皇杯サッカーワールドカップ大會は、十七日西宮球技場で舉行、試合開始直後、開東一点先取して先行したが開西よく追いつき、昭和十二年以來久しくりに勝ち、天皇杯を獲得した、これで開東九勝一敗となり、開西五勝一引分となつた。

いに農賃の至りといわねばならぬ。試合は立ち上りは關東悪く、三分倒襲で鶴田を持ちこみ本村へ絶バスを送れば、木村左に回し關東悪く、東バックスの背後で撒けた球が先に到着する。賀川、工藤と相ついではずしに球を取て点を逸したほかは關東押す。氣味で、三分關東間田二郎前で中へ入れられは、二宮これをおらへタイングで決め、關東の先行となつた。その後ようやく立直つた關西FWは中盤から適時横バスを交えてスピードのある攻勢を繰り返す。だが、關東ゴール前で寄せの形が堅わらずいつも突破力に欠けて、ものにならなかつた。しかしあと5分というところでは、ぱらりと動きを見せはじめ、一方關東の疲れに乘じ、とくに中盤から一気に攻めこんで關東ハックスがゴリードから追従し切れてきたところをゆさぶつてつづけて2点を獲得。逆に關西のリードとなつた

に鶴田へ、鶴田また中へ回してそのまま押しこんで一点を加^ナしたので關東FWも奮起、加納をR1に入れ渡邊がLWとなつたが、二宮から加納に回し、加納のダブルがLWで關西バックスを割ってドリブル、さるに關西バックスを割った二宮をもいてブリト。ショートで決め3-1-2と追つた、38分關西は賀川に出た球を賀川左に抜くと見せて逆に右へ鶴田に回し、これを猪田センターリングすれば絶好のショートとなり猪田カバペー^ルしたが足りずそこでそのままゴー^ルし關西の勝利を確貫にした。

關西の勝因はいうまでもなく若さにあり、体力がものをいつたのであるが、得点の原動力は賀川の廣範囲な動きにあり殊勧者の第一といつてよい。

日本サッカーリーグでは、東西対抗サッカー終了後、本年度日本代表選手の選考をおこない、左の十九名を決めた(○はベスト・エレブン)。

GK ○津田(慶出) 中畠(文大出)
FB ○三木(神經大) ○江(早出) 岡田(早)
H B ○宮田(早出) ○末(早出) ○則武(神經大出)
本(關學出) 有馬(東出)
FW ○鶴田(關學) ○賀(神經大出) ○二宮(慶出)
岩谷(早出) ○加納(早出)
村(關學) 工藤(關學) 和田(大) 大塙(東大)

かえれば上
はひの森
ことによる
命をばん
がゆう
日本鋼管

三共(関東)の初優勝成る

先週の記録

關東FWは加納をインナーに入れてからはすこみを加えた。時すでにおそく、その起用をつたこと、すなわちFWライの布陣の失敗は戦前選手の体

一
二
三
四

の初優勝成る

先週の記録



S24-5-14

伸びる。東洋工業は試合でのその態度もよく、動きも強くよくまとまつていた。田辺と湯浅は負傷者続出でタイト

慶大、早大と引分く

光る福永(GK)の好防

関東大學サッカー

選手次

③東大2勝3敗④教育大1勝2敗
②⑤明大1勝4敗

O B サッカーリー

開東代表決

2

2

2

2

2

2

2

2

2

2

2

2

2

2

2

2

2

2

2

2

2

2

2

2

2

2

2

2

2

2

2

2

2

2

2

2

2

2

2

2

2

2

2

2

2

2

2

2

2

2

2

2

2

2

2

2

2

2

2

2

2

2

2

2

2

2

2

2

2

2

2

2

2

2

2

2

2

2

2

2

2

2

2

2

2

2

2

2

2

2

2

2

2

2

2

2

2

2

2

2

2

2

2

2

2

2

2

2

2

2

2

2

2

2

2

2

2

2

2

2

2

2

2

2

2

2

2

2

2

2

2

2

2

2

2

2

2

2

2

2

2

2

2

2

2

2

2

2

2

2

2

2

2

2

2

2

2

2

2

2

2

2

2

2

2

2

2

2

2

2

2

2

2

2

2

2

2

2

2

2

2

2

2

2

2

2

2

2

2

2

2

2

2

2

2

2

2

2

2

2

2

2

2

2

2

2

2

2

2

2

2

2

2

2

2

2

2

2

2

2

2

2

2

2

2

2

2

アサヒスポーツ

S24-12-17
12月17日号

ASAHI SPORTS WEEKLY

(昭和23年1月10日 第三種郵便物認可) 発行所 東京本社 東京都千代田区有楽町2丁目8番地 電話(28)181
(昭和24年2月25日運輸省特別版承認新聞第175号) 大阪本社 大阪市北区中之島9丁目8番地 電話(28)181
昭和24年12月17日発行 第651号 朝日新聞 西部本社 小倉市砂津字富野口北880番地ノ1 電話: 2781
編集人: 梶田幹雄 発行兼印刷人: 春海謙男

毎週土曜日発行
定価 12圓

S
24
•
12
17

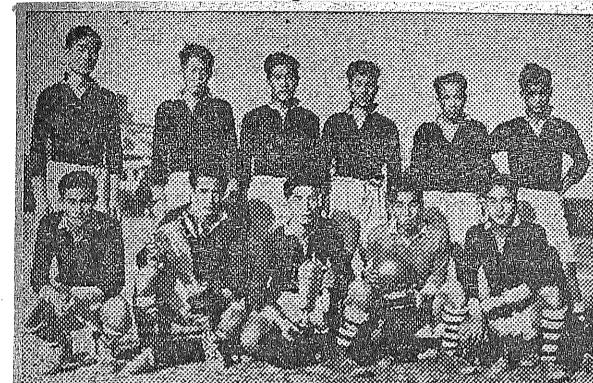
プロ野球入りした蔭山選手
燃えだしたストーブ・リーグ



早大好機を逸す
対関大東西サッカー決定戦

前半13分左コーナー・キックからの送球を松永(左から二人目—早大R.I.)がヘッディングで
ねらつたが、山形(5番関大CH)のチャージに會いバー上にはじいて好機を逸したところ

奥野 嘉 真 部 員撮影



「ム」
優勝した早大子
をつけていたから
なよし連から
最近帰還したC
Fの名手川本翠
三氏（早大OB）
ベルリンオリン
ピック選手は
帰国後初の観戦
であつたが次の如
ような感想を述

川元、萬 學生サッカーワークス 一位決定戦

左ヨーナーに迫り絶好のセントラルリングを送れば、I・J伊藤倒れ込みが好い Heidi・早大GK岸谷インをボールが蹴れたかにで、関大は幸先良き先取得点を簡単につけてスタートした。しかし、その後は主客を変えて早大がぐんぐん上位を目指して、そうして11分、早大は左Cを得て岡田のキックは絶好となりGK納キャップししようとすると瞬間B・I・松永見事チャージして一点をたやすく返した。続いてOKを得るなど、直取大はこのところ7分のボーラーを取つて押していった。この状態が前半を終るまで続いたのであるが、関大の出足は甚だ鈍く、時おりC・F・和田がRWに好バランスを送つたが、乙時の推理悪く、チャンスをつぶすものがつづいていた。早大の出足が時々遅くなつたわけでもなかつたため、動きの少し早い伸び伸びの感じが強く印象付けられた。ボールを取つてからも、バースは時間を使つてしまひ敵に渡るといふ場面が繰り返された。これは、といふ好技を示してはいいなかつたが16分、L・I・高橋

学生サッカーワークショップ
王座を決める抗のリーグ一位対抗戦は、早大対関大戦は快晴の十一日午後一時から西宮球技場で開幕。浜市橋、鎌谷審査員の主催で、快調の早大は4-1で関大を破り優勝した。これで関東十四勝の二敗一引きのリード、早大は七回出場全勝となつた。

試合開始直後から90秒足らずで関大Fが田代直央からドリブルで

早大、王座につく

S
24
•
12
17

學生に見られぬ知能戦

この日は気持よい暖さ、それに似てか試合は激しさのみられぬのんびりした感じ、ここに闘争大は對闘争戦で示された闘争は初めから見られず、その敗退は当然だ。バックスは消極的ではなりサイト。ハイフは中盤ではほとんど機先を制し得なかつた。まだ頼みのF和田も闘争力、粘りを欠きいたずらに駆妙なフットワークをみせただけで肝心のゴル前にははとんど彼の姿がみられぬという有様でむしろ彼は闘大にとつてマイナスの働きがつた。一方早大はリーグで見かけた以上の快調をみる。O山田村がいた開東唯一のわかれO山田村がこれに替り、香川が分任務を果した。バックスにギック力の貢献を見出されるのが開大の大きなかつてのLW岡田は期待ほど感動力を現わさなかつたがCCKでの好キックは常に開大がCCKまでの高橋もまた地味ながを圧し、LIL高橋もまた地味ながを

LW 関大が決めて、二点の間関大をバックスで試合を進めた。この間関大も粗糙でゴーリー前で早大FWをしばり、アリーナにしてしまった。後半直つた関大は直ちに攻め込み攻勢を保つうち、2分ゴーリー前20秒あたりにアリーナ・キックを得、H山形キック、早大GK岸本胸に当ててファンブルするをLW恒遠ブッシュして二点を返した。この前後が関大回復のチансスであつたが、22分得点R1松永中盤でボランチを得てドリブルし右に回つてショートしたのを関大GK納やし出過ぎて上を抜かれ4-1-2となつたので関大は試合を捨てたようのみ

なく敗退

好プレーは闇大一頭目の和田のセンタリングだけだ、バスも時々期が常に温かい、一度概念的に知

研究したフレーではなさうで
す」（大谷四郎）

(一) 武田樂工、高田アルミ、塙野製薬、日本アルミニウム、阪神電鉄、日新化学
(二部) 市役所、藤沢樂工、大健産業、大丸、日研本社、日本レコード
(四部) 三義化成、日紡山崎、田附商店、關原櫻配電局、大日

東西OB對抗サッカー豫想

東西O・B 対抗サッカー試合は多いことではめずらしい部類で、**東西O・B 対抗サッカー**——豫想
八年午後一時から武蔵野球場で行われる。この成績は關東が5勝4敗7分(一部は戦争で中止)で、リーグ戦の成績は、**東西O・B 対抗サッカー**——豫想

たくかため、これに加えるに橋（麗大O.B.）と、大谷（東O.B.）と關東流のコリチを駆て万台を期しているようだ。
臆想されるメンバはFWばかりから皆（シ）賀川、岩谷、皆木だが、兩イングに相当な難があるもの（鑿）、このヒンタースリーにはさるべき得点力がある、H.B.以降も去年までワイルドボイントで

あつたF.B.ラインに中阻(關學大O.B.)またの病んで戦外に加わり得ない状態ではその困難な年來年卒)を加えて著しく安定して、關西にとつては五分の戦績にもとすべく絶好のチャンスといえるだろう。一方關東では、丁度第一線のBブレーイヤーが新陳代謝しようという時期にあたつていて、メペーの一編成にも難かしい点があるようだ。その上G.K.津田(慶大O.B.)が育陽、C.F.早川(東大O.B.)が宣傳、宣傳能戦となるにちがいなく、見せぬ一戦ではある(宣傳能多)

まで今年は第二十一回目で
までの成績は勝率東が5勝
引分け1敗で中止1敗で
トドシ、一部は戦争で中止
抗ゲリムで引分け1敗で

へた。身体は單直のわざで、時よりむしろよいくらいで早大などはいともよいプレーが出来とうに見えるが、この試合は間伸びのした試合だった。黒闇大ニフ（オーブ）ともエビ禁区（昆ニフーム）とも区別のつ

好プレーは闇大一頭目の和田のセンタリングだけだ、バスも時々期が常に温かい、一度概念的に知

研究したフレーではなさうで
す」（大谷四郎）

(一) 武田樂工、高田アルミ、塙野製薬、日本アルミニウム、阪神電鉄、日新化学
(二部) 市役所、藤沢樂工、大健産業、大丸、日研本社、日本レコード
(四部) 三義化成、日紡山崎、田附商店、關原櫻配電局、大日

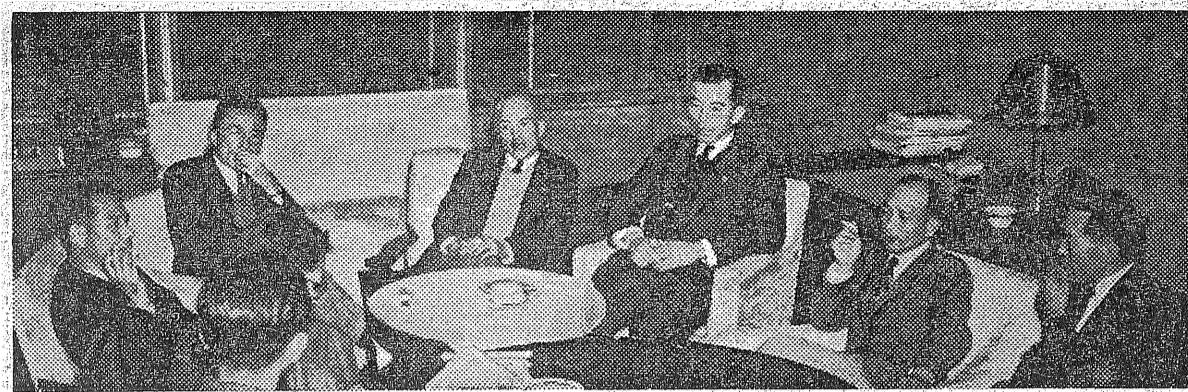
S
24
•
12
17

17

研究したフレーではなさうで
す」(大谷四郎)

(一) 武田樂工、高田アルミ、塙野製薬、日本アルミニウム、阪神電鉄、日新化学
(二部) 市役所、藤沢樂工、大健産業、大丸、日研本社、日本レコード
(四部) 三義化成、日紡山崎、田附商店、關原櫻配電局、大日

るものは、やはり「
B」以下で恐
れ下に下に
て大だ。
あるべきうの時代にあたつては、
あるようだ。その上GK建
OB)が盲腸
CF早



願いまして誠に有難う存じます。
本日の東西学生王座決定まで
大が優勝しこれで大体廿四年年度
の学生サッカーは終つたわけですが
あります、つきましては今日まことに
で試合を進めてからおどりに御心談
と申しますがそうちましたか、方舟
について、今日の試合を中心にしてい
ろ／＼お話を伺いたいと存じます
す、司会を大谷君にお願いしま
すからよろしく

「アーバン」の学生サークル
まだまだO.B.には及ばぬ

東はキック、西はヘッディングが悪い

言ひます。東西のことは、いかが
はじめたいだしましよう。
関東の方から、竹腰さん、加納
さん、関東リーグ全般を概観し
て技術面では昔とくらべて、
加納　スピード、馬力の点
じや相当昔に帰つてゐるだろうと
思う、競争の点はどうう見えてもま
だ思ひないで、競争の点はどうう
想像するが、結構なま
に思ひねども、まとまりない、テ
クニックとかがそろつてゐる点
は関学の方が上のように思つた
ですね、たゞねばりがなかつた
これは精神状態、練習の時の態
さまが、なかなかなかつた

に結局動きの強いチ一ムが上位を占めたということはいわゆるわけです。技術よりも広く動き回ることで試合をリードで勝ち抜く悪が二たんいやがんだらが、それが試合に現れていた、関西は大阪クラブで国体を行ったでしよう、あの強いメンバーや中に徹底込まれて非常に

きるというより
なレベルですね
はとうですか
竹腰 そう
上つたともいえ
ないですね、だ
が粒がそろつ
きてているとい
う感じですね、今
年の年初稻田ね、
去年の東大ね、
はるかに強いと
まではいえないかも
知りえないが、
西の少しあるかも
方はどうですか
大し
司会 ブレーの上で去年と変
化納加
れまでの成績から教育大に非
常に分があつたわけで、そこ
が明治が勝った、その日の気
構えが試合に出てくる、実力は
六チ一ムとも紙一重というこ
ろです

東西の優秀選手は

司会 あとの選抜試合には関係なしに優秀な選手を拾つていいだいたいから、
加納 G.K.じよ早稻田の岸本教育大の稻元、F.B.はいこのはないな、早稻田の堀口ぐらいか
な 司会 ないか
か 加納 あれはい、ブレーチをやる。
宮本 サイドは慶應の田辺そんなところでしょうかね
司会 F.W.では
加納 やはり東大の大丸山、宮本、立教の鈴木、竹村、早稻田の松永あたりが入るでしょ
う、早稻田の高橋君はいゝ選手ですよ
司会 岡田も中途半端になつてゐるが、立教の鈴木、竹村、早稻田の松永あたりが入るでしょ
う、早稻田の高橋君はいゝ選手ですよ
市橋 というのはいないね
司会 市大の場合ほくは個人技術を生かすよりも全体のまとまりの方が大事だとは思つていい
るんだが
司会 サイドハーフはどうで
すか
山田 か サイドハーフでは関学の山田か
津田 は高田が上だと思う
司会 フルバックは
山 播磨 関大の南木と山形だろ
うな、京大は強いていえば深
い、恒基くらいいなものだね
人はいますか
加納 関東はおりませんです
ね 宮本 関西では関学の木村は
どうだい
播磨 木村あたりだね、長沼
(関学)あたりも来年よくなつ
てくるんじゃないですか

高田だよ、あれが一番のびた
司会 加納さんや津田さんは
コーチをやつとられて、なにか
戦前と非常に変わっていることを
感じられますか
加納 そうですね、昔は一年
二年は試合に絶対出られない、
また対外出られない実力だつた
ので、何とか追いぬいて出で
たといふ野心をわれり、もつて
たんだと思います。今の者でも試合に出
た気持は、やや古いかな。
上級生がいるからおれはつと
てもだめなんだろうというよう
なことが練習態度に非常に現
ることが多い
司会 戦前のセンスからい
ば理解しがたいといふような点
は津田 多分にある。それは生
活からきてるんぢやないかと思
うのですが
加納 それはよかつたといわ
けいやないけれども、観の太
竹腰 集中力があつた
市橋 それはウイニングならキ
新喜好例の朝日招待サッカ
カ一は一月七、八の両日、
宮第一球場で第八回大会
開くことになつた
最高水準の好試合を展
して来た。本大会は今
も全国の最強チーム
八日選ぶ観點から関東の
大、金東大、今立教大、今
月七、西宮第一球場で第八回大会
も全国の最強チーム
一関大、全関学大、今
戸大、全神商大の四チ
位四校にあたるもので
を招待し東西の顔合せを
う。これらは東西学生サ
カ・リーグのそれも
位四校にあたるもので

（竹腰） とか、そういう技術が中途半端なところができないとか、速力がある。ところがサッカーは、早に敵に囲まれる。だから、精神的な面などがサッカーだけじゃなくて各スポーツにあらざるところが、戦後社会情勢のためじやないか。それが、われわれの頭で理解していくことが多分にあると思うなあ。司会 ところでリーグ中一番いい試合はどれでした？
（竹腰） では麗東戦ですね、あれは相当いい試合だった。
（竹腰） 関西では神経と関学がよかつた。
（竹腰） 往年はだめつたけれども、神經がみなくらついて行くようなゲームをした。だから面白かった。迫力があつてうところは、
（竹腰） 技術的にはミスもあつたが、やはり迫力があつたといふところだね、見ていても最後

までさきがかつた
司会 戦術的に見て試合の運
びの点では
優勝への苦心談

たですか
津田 結果として、いかが分らんけれども

苦心談

加納 ところがまたその明治に四苦八苦してようやくつた、その次の早慶戦の時分てしまつたんですが、早明治の時はむしろ引き分けたり勝てはよかつたと思うのですが、司会 戦跡は混沌としてたが、自信は持つてられたか
加納 ある程度自信は持ました
大橋 F.W.が最後まで変ですね
加納 それは弁解じやな
ですが、今でこそやつて失敗らへれをもうといふことは、今は大体どんぐりの背くら少しまあつてゐるんです。そ
次々と抜擢してやると若いは意氣に感じて非常な勵きをしてくれるということを期して出した
司会 津田さんはどう思
すか

津田 うちは春同じよう
本体操をやつたんですね、体
うんと練つて夏に持ち越しし
けながら、精神的支援と
部から非常に精神的支援と
ますか、そういうものを得
例えば福岡君とか岩谷君あ
にボトルをともに一べんで、
つてもらつたというところ
きな進歩があると思う。さ
ど市橋君のいうように東京
大坂で行つて相当自信
けたといふことも原因では
ますけれども、とにかく闘
勝しないで、というような行
をしなければならないほどで
に勝つことは非常に難かしく
た

勝つた。そこで、今日の東西対抗大会で、どういう作戦を立てられるかが、勝つた大きな原因だと思います。ですが、どういう作戦を立てられるかは、田代がこらねなかつたから、朝日を開拓したのです。田代はとにかく左へ行くと、シニアトドモバスでも走る。わかつたが、和田はとにかく右へ行くと、シニアトドモバスでも走る。田代は、気が弱いから最初は強くないが、和田は、元気で、当られるのを防げて、球を早く放つ。それで、弱くてもいいから両翼で打たれないと、後半には相手も長く続かない。和田が相当強いといふことを聞いてたんで、南木を右に山開き方にあります。でも、もうけはねつけをつけて、おどりもく間に引戦優勝です。

※ 左ペ-ジへつづく

※右へ一シカニハツベ

司会 今日の試合を忌憚なく批評をしていただくと、竹脇・早稻田はよくて成功したというわけじゃないと思ふ。開大のバックは体格はいいけれども腰がきまつてない。守備陣勢はそれに対する守備陣勢が出来てない。原則的にいつでも守備の欠陥があると思う。開大のバックは非常に弱い。それが開大の弱点がかかるから、非常に大きな欠陥を出す。得点はコートナーチ・キックから二点入ったようだ。ヘッディングが弱く、ゴル前での競り合が弱い。攻撃では田はどく問題なんですかといふことがあつたが、和田が非常によく攻めていたし、ほかの人のバスも適時適所にいよいよバスを出していた。後半は開大にチャンスがあつたが、和田がちよつと気が弱かつた。

播磨 一言にしていえば関東の方がよく動く、それと体を使つてプレーをよくする。関西は足先だけでも、一人々々の動きの量が少い。これが一番大きさの差じやないかと思う。

市橋 ぼくは今いろいろ精神的な面においてもつと学生らしい張り切つた気持が欲しいですね。作戦ということも指導しながら、それを先輩、コーチが指導しなければならないのかつたのは、ゴル前で混戦になつた場合に早稲田のFWは大抵出ている、ところが開大はその突込みが少い

朝日招待サッカー



関西蹴球協會共催第八回朝日新聞招待サッカーワールドカップ大会は、七、八の両日在西宮球技場で挙行、東西のベストエイトによる全立大対全神戸大、全慶大対全関大(第一回)。

全早大² 0-1-1 全国専門選手権
（主審 市橋）

は山城八人西学少ないバースマークなど期待にこないが、大会中の最高試合だった前半風上に陣した大島は攻勢を持った。3分CFC 加納中央を翻して、1点とみえたが関学は10分逆転必死のタックルで好機を逸し、FW鶴田がLH宮田を外す。LB岡田を内側に抜き満面のコートを右隅に決めリードすれ

全早大、全關學を破る

151

リードとなるべく前半を終る。後半は風も弱まり激しいシーゲームを展開、6分早く大L—10Fと渡り加納GKをかわしたがGK松田よく帰つて逃れる関学も中ごろ数回の好ショットを放つたが運悪くわずかにそれついで三連勝を逃した。早大は前半高橋の動きよく風上の利をつかんだところに勝因があ

慶次大はGKに名手津田のみ、大もまた両インナーだけがO-10という現役軍に近いメンバーリングで、対戦、この日闘大FWは両インナーが後退し過ぎ、和田田がC位を奪取。松岡を決定的に抜き切れる所では得点もむづかしい、天は全員の動きが非常に好印象についた上にまだまだ衰えぬ津田

三木カットしたが自陣ゴール流して自滅の一撃となり、前線このリードを持ちつづけた立の出来は見事であつた。大木は前半のO山越の不運でコンビとゝのわず苦戦しが後半ヘーフスの善戦と賀川の広汎なカバーイングで一挙

木曜日三水角興井山木北
【全商大】

初出場の至り
全神大立

大後半善戦して勝つ

中野正統は難に立たず、早速FWのスピードを弱めながらゴール前でオフサイドでFWを撃退してFWの頼みとする木村がやんわり攻撃に迫力がなかつた（大谷四郎）

ての闘志満々なり、前半の和田のショートに対するセービングが田代のGKに対するいい活動範囲は他のGKの見ならうべきところだ。（大谷四郎）

利も伴つて東大はほとんど神商
大陣にプレーを進め一方的試合
となつた
神商大は後半37分北村持ち込

み井歎が左からショットして一
点を報し、零敗を免れたが、あの
一点を後半初めの神商大のチャ
ンスに入つていればもつと試合
は面白く展開したろう、神戸は

關東、七分の強味

東西学生選抜対抗サッカー

関東大學生リーグに躍進した早
大を主体として編成され各ライ
ンとも申し分ない、ただキーパー
の岸本早しが病気欠場するの
でその点に不安があるが、バッ
クスはさきの対戦大敗、朝日新聞
待合会で健闘し関西選手には絶
賛騒ぎだけに心強い、さらにはF
W陣はツブぞろいでシート力
も突破力もあり、スピードな
バース・ワーク・忠実な勵志とゴ
ル前前の強みを發揮して関西陣
は

西	西
(関学)	(関学)
松田(関学)	南木(関大)
FWGK	三木(神大)
FB	高田(関大)
HB	深山(京大)
FW	山田(関学)
FW	鶴田(関学)
	恒田(京大)
	和田(関大)
	鈴木(神大)
	足原(足跡)
は定評あるが、最近の兩人は西に倒れの感があり、それと西インナーが弱く、関東の分厚いバックスを抜くことはかなり難しい。バックスはそう見劣りはないが、これが前のねはりがないのが欠点だ。この弱点をFWが得点でカバーせねばならぬが、両インナーが協力、和田などを一定程度援護するか問題である。この点からして関東に七三分の勝を味あり、二、三点は開こう。	関西(関学)

S25-2-11

西軍バクス善戰



ヤンスでは、いつかが実績を積み、なかなか勝利を収められない。西軍は、このままでは、いつかが勝利を取る可能性がある。そこで、西軍は、まず、右隅をねらつたが、GK稻谷の好セーブで止めた。鷹田はそのまま前右から流れで来た時に直接ショットすべきであった。

◇：後半風上になつた西軍は、直ちに攻勢に出た。東軍は再び松永をCFにもどし、6分ごろに、は攻め込んだが、西軍は、バックスに援護されて盛んに攻め立て、12分中盤で鷹中の鋏いつづれからひ駆除で林木と右側をそぎ落としたが、そこには、東軍が、軍ゴール前を往来して西軍の得点遠からずと思わせた。17分西軍R.I.恒蔵負傷した直後、西軍全員の動きが一、「二分急にシート右にそぎ落されたが、そこには、東軍とゴール前をゆさぶり竹村のヘッディングであつけなく勝利の一歩を挙げた。やあせつた西軍は、必死に攻め、数度のチャンスを迎えたが、両陣の決定力不足と頼みの和田のショット決らず、その上東軍FWも、第4回離れて前半より早くなり守勢を盛返したので、とうとう逃げ込まれてしまった。

◇：この日、風強く、ボールは一方のサイドで展開少く、味方を殺すことともあつたが、技術的には内容豊富とはいえない。東軍は、観戦者も期待しただけに、余りほめるところが見付からない。エース松永は、西軍CH三木をやゝ持てあまり気恵みつたが、林木、竹村の両ヴィングも単調であった。バックスは、田村の動きで救われた。

未だ悪く、LB岡田も置き難させた
西の新人RW木村に案外活躍させた
◇：西軍が予想以上の奮闘をして、
したのは技の名勢を自覚したから
の感結力にあつたが、懸念された
た動きも見劣りなく顧みとみられた。
R.I.恒蔵、R.H.岡村などは、
よく至力を感じていた。和田は、
もつと横にも動いてO.H.と躍ね
ばざらにチャансスを作り得ただ
ろう、結果は予想通り東軍の勝
利ながら、試合は五分五分、な
しろ西軍は試合に勝つて勝負を
負けたといふところ、東軍は運
の勝利といえる。しかし西軍
は後半18分失点の経過、すなわ
ち一瞬のゆるみも禁物の経過、すな
とをよく肝に銘じなければなるま
まい（大谷四郎）

S25-2-25

先週の記録 ◇サッカー東南アジア大会(18日、香港)

S25-3-11

S25-3-4

先週の記録

△サッカー	関東大学OBリーグ
△(26日、東大)	日大OB 4(1-1-0)
△(26日、東大)	関東大学OBサッカーリーグ
△(26日、東大)	慶大OB 9(7-1-1)

1 東大OB

イタリア勝つ
サッカーカー
世界選手権
は約六万のファンを集め
ボローニヤ(イタリア)
日を開いたが、第一試合でイタリア
アがペルギを2-1で破つ
(APP共同)

△サッカー	関東大学OBサッカーリーグ
△(26日、東大)	日大OB 4(1-1-0)
△(26日、東大)	関東大学OBサッカーリーグ
△(26日、東大)	慶大OB 9(7-1-1)
△(26日、東大)	東大OB



サッカーの妙技
欧洲サッカーの雄イタリアの選手は、いつも攻撃的にゲームを運び、特に個人技を好みます。まるでバレーダンサーのように跳び、走り、情熱に燃えて球を追う様は南欧的性格をよく現わしている。この写真はそのすばらしいパンチ力と曲芸的足技を示しています。左はペロラ選手得意の逆転クリアリング、右はパンチでクリアする敵キーパーへの強烈なチャージ(ピーコン紙より)



甲府が初の優勝
東日本都市対抗サッカーリーグ
第4回 東日本都市対抗サッカーリーグ選手権大会は十九日から三日間武藏野球場で挙行、甲府が善戦をつけて決勝では強敵前田善男を破つて初の優勝

S25-3-18

先週の記録

△サッカー	代関東代表
△(12日・東大)	△(12日・東大)
△(12日・東大)	△(12日・東大)
△(12日・東大)	△(12日・東大)

大

馬

1-0

杉並

競技記録

△サッカー	東日本都市対抗サッカーリーグ
△(25、26日、朝ヶ谷)	△(25、26日、朝ヶ谷)

競技記録

△サッカー	地区予選
△(25、26日、朝ヶ谷)	△(25、26日、朝ヶ谷)

競技記録

△サッカー	大会東京予選準決勝
△(16日・武蔵野)	△(16日・武蔵野)

先週の記録

△サッカー	関東大学OBリーグ
△(26日、東大)	日大OB 4(1-1-0)
△(26日、東大)	関東大学OBサッカーリーグ
△(26日、東大)	慶大OB 9(7-1-1)

1 東大OB

競技記録

△サッカー	甲府が初の優勝
△(12日・東大)	△(12日・東大)

競技記録

△サッカー	地区予選
△(25、26日、朝ヶ谷)	△(25、26日、朝ヶ谷)

先週の記録

△サッカー	東日本都市対抗サッカーリーグ
△(25、26日、朝ヶ谷)	△(25、26日、朝ヶ谷)
△(25、26日、朝ヶ谷)	△(25、26日、朝ヶ谷)
△(25、26日、朝ヶ谷)	△(25、26日、朝ヶ谷)

大

馬

1-0

杉並

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

大

S25-7-8

S25-7-1

實行委員会へ持越し

曰、獨のサツカト再加點問題

国際フットボーラ(サッカー)
連盟総会は「十二」、「十三」の両
日、ブラジルのペトロボリスで開
催、注目された日本とドイツの

再加盟の件は同連盟の実行委員会で討議、結論を見出すこととした。総会ではまずニカラガとイラクとの加盟申請を承認、ザールの加盟申請を仮認めたのも、日独連合に入つたが、ミコ代表ミロラッド・アンドレジンスキ氏が立ち、連盟は東ドイツか西ドイツどちらの協会を承認するのか、その質疑があり、結局この両国の問題は実行委員会で討議、結論を見出すこととした。

会に一任することを投票で決することになり、ドイツの場合は「二十対一」、日本の場合は「二十四対〇」、日本は「十四代表棄権」で一方的に実行委員会にかけることに対決済された。これに際するガルニエ・ゼギール・グレゴリオ代表は、「なぜわれわれは実行委員会にこの問題をかける必要があるのか、この会議で直ちに決定すべきである」と日本の再加盟の即時決定を

備であり（注）日本協会は、
盟に再加入の申請書は完了し
てあるといつてゐる。日本
が果して復帰するだけの資
を備えているかどうかについ
て現在十分な資料がない。だ
からこの問題は実行委員会に
かけて調査の上決定するのが
当然である。

を信じて疑わない、ザーブと
独の再加盟を承認すべきだ」
主張した。実行委員会は再加盟の
可否を一九五二年六月十三日
総会に報告するが、フラン
シスのフレンケル氏は
「実行委員会が日独の再加
盟を承認すればすぐ両国は同
連合加盟国としてこの種の利
便行使できる。私は一元帥か
日本本部をヘルシンキ・オリエン
ツクに参加させてくれとい
う書簡を受取つてしまふ」
と紹介した（AP特約）

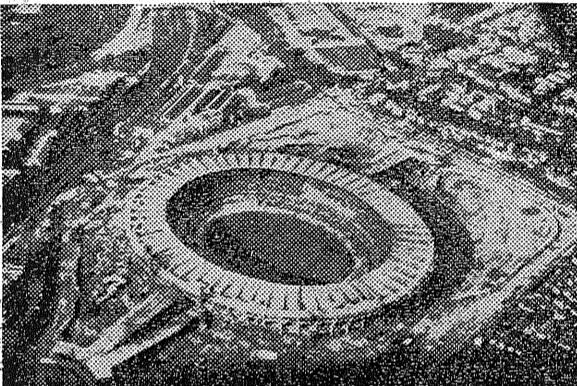
ラジオ放送 ラン盟と日

サツカートの国際復帰許可

九月の理事会で正式承認

希望のサッカーの国際復帰が正式に認められるものと朗報が六月廿九日日本サッカーリーグ会長として国際フルットボール(サッカー)連盟(FIFA)会長エリック・トレンドル氏からもたらされた。電報はリオデジアネイロから打たれたもので、日本FIFA復帰は来る九月二十三日FIFAセレモニーで開かれる常任理事会で許可されるが、それ以前でも国際試合をすることは差支えないとしている。ただ復帰許可までは公式試合(世界選手権大会など)を除くものとすると記されている。なお、リオデジアネイロ二十八日発のU.P.電報でも同様のこととが伝えられてきたが、日本と同時にドライツの復帰も認められることになつてしまふ。

それで常任理事会(実行委員会)に任せとなつたが、日本は一九七四年以來連盟に対し次第に手をつけた復帰を申請していり、手続も不備がなかつたと思つていただけに連盟の処置には不満があつたが、この電報でこの間の騒動が一掃されて喜んでいる。騒動がとしていつまで、日本は六月一日から一週間信州浅間温泉で代表団が一泊二日開催して国際進出の下地をつくる計画である。今年は協会創立三十周年となるがこの二年間再び世界のヒノキ舞台へ出立られるチャンスが与えられるることは日本サッカーリーにとつて朗報である



世界一のサッカースタジアム

いま世界サッカー選手権大会の行われているリオデジャネイロのヴァンコ・ダ・ガマ新競技場、工費二千万ドルで十二万のファンを収容出来るという世界一の大スタジアム（AP提供）

525-7-15

世界サッカー決勝

世界サッカー決勝リーグ戦第一日の九日はリオデジャネイロ市民競技場でスウェーデン対ブラジル、サンペドロ・ベニン対カンボジア競技場でスペイン対ウルグアイの二試合を行なが、十五万と二三新記録の大観衆を集めたりオの試合は地元ブラジルが7-1の大差で勝ち、スペインとウルグアイは引分けに終つた。なお決勝リーグ第二日目は十三日スペイン対ブラジル（於リオデジャネイロ）スウェーデン対ウルグアイ（於サンペドロ）同第三日は十六日サンペドロ対ウルグアイ（於リオデジャネイロ）スペイン対スウェーデン（於サンペドロ）の組合せで行われる（U.P.共同）。

S25-7-22

空川タツヤ 作 優勝
世界ナップラー選手

世界サッカーリーグで行われた第十九回世界サッカーリーグ選手権大会は六月三十日終了したが、決勝でウルグアイが地元のブラジルを2-1で破つて優勝した。両チームは決勝リーグで4勝同士で同点にあり、この試合で勝てば優勝出来るので地元では十六万の大観衆がつめかけ声援を送ったが、前半は両軍とも得点をあげられず、20分ウルグアイも一ゴールを報いて同点。31分さらにウルグアイ二度目のゴールをあげこれを勝利点とした(UPI)。

S25-9-23

◆サッカーリ 東京都長杯選手権
兼国体都予選一回戦(11日、大
泉) 景

慶、立が勝つ

好感持てぬ立のラフプレー

東大一
学力一
東大サ

一考を要するものがあった。

クを大事に生かせば、もっと慶大に普段戦いを打たれていた。

立 大 4-2-0-0 東大

立 大

立 大

立 大

立 大

立 大

立 大

立 大

立 大

立 大

立 大

立 大

立 大

立 大

立 大

立 大

立 大

立 大

立 大

立 大

立 大

立 大

立 大

立 大

立 大

立 大

立 大

立 大

立 大

立 大

立 大

立 大

立 大

立 大

立 大

立 大

立 大

立 大

立 大

立 大

立 大

立 大

立 大

立 大

立 大

立 大

立 大

立 大

立 大

立 大

立 大

立 大

立 大

立 大

立 大

立 大

立 大

立 大

立 大

立 大

立 大

立 大

立 大

立 大

立 大

立 大

立 大

立 大

立 大

立 大

立 大

立 大

立 大

立 大

立 大

立 大

立 大

立 大

立 大

立 大

立 大

立 大

立 大

立 大

立 大

立 大

立 大

立 大

立 大

立 大

立 大

立 大

立 大

立 大

立 大

立 大

立 大

立 大

立 大

立 大

立 大

立 大

立 大

立 大

立 大

立 大

立 大

立 大

立 大

立 大

立 大

立 大

立 大

立 大

立 大

立 大

立 大

立 大

立 大

立 大

立 大

立 大

立 大

立 大

立 大

立 大

立 大

立 大

立 大

立 大

立 大

立 大

立 大

立 大

立 大

立 大

立 大

立 大

立 大

立 大

立 大

立 大

立 大

立 大

立 大

立 大

立 大

立 大

立 大

立 大

立 大

立 大

立 大

立 大

立 大

立 大

立 大

立 大

立 大

立 大

立 大

立 大

立 大

立 大

立 大

立 大

立 大

立 大

立 大

立 大

立 大

立 大

立 大

立 大

立 大

立 大

立 大

立 大

立 大

立 大

立 大

立 大

立 大

立 大

立 大

立 大

立 大

立 大

立 大

立 大

立 大

立 大

立 大

立 大

立 大

立 大

立 大

立 大

立 大

立 大

立 大

立 大

立 大

立 大

立 大

立 大

立 大

立 大

立 大

立 大

立 大

立 大

立 大

立 大

立 大

立 大

立 大

立 大

教育大と慶大勝つ

早大は拙戦、東大と引分く

関東学生サッカー

関東大学サッカーリーグの対立戦で、早大対東大、慶大試合は十九日午前十時半から武藏野サッカーフィールドで行われ、教大と慶大は順当に勝つが、早大は拙戦をして、東大と引き分けた。これで勝1分の慶大が勝ったが、東大は2分の順当に勝つ。この日の試合で最もよかつた。両軍はスピードも相まってボールは激しく動き、直ちに立教が逆襲に出で鈴木

立教は前半出足よく慶FWの

出端をくじいてボールを奪い六分

の攻撃を保ったIR鈴木の好キ

ックはしばらく攻撃の端緒を生み

盛んにサイド・チャンジを試みて

やさぶつたが、まだFW一般にト

ラッピングが生硬でショットの機

会失つたり、クロス・バスにタイ

ミングが考えられていかなかったの

でどうくゴールを挙げられなか

った。OL柱下に元気がなく絶好

のボールを凡シヨットしていたの

も惜まれる。しかし3分、慶がO

L重松—OF菅原と渡り、その

ショットがGK正面を突いたあ

と、直ちに立教が逆襲に出で鈴木

吉の強引なドリブルからOR山口と渡り慶コートへ侵入したスピーディな攻防をなして前半はことによかつた。

後半に入り3分V教OF竹下の

ショットが轉々とゴール左隅を破

り慶は先得点を奪われたが、自

信ありげに前半の受身を次第に攻

勢に轉じ始めた。これは風上の有

利もあるが、前半ポジションが

浮き勝ちでボールが足に付かなか

った両インサイドが後半にはよく

拾って活躍し始めたからだ。

早大→東大

早大のショット

の数14、東大はたゞの1という早

大の攻撃が半過したが、早大

の凡振りはなはだしく、よいと

だった。

関学→神商大

関学はいいよ→篠

戦に入り十七日午後一

時から西脇球技場、関

大対東大、関学対神商

大の試合を行い、関

学がそれで勝

った。

関学→神商大

高橋原力で優勝の呼

声高い関学に対し、神商大は技術

的にはまだ不満でも結果の関大に

引分けながら、慶愛さんそ

の奔放さで試合を巧く運べば面白

くなりそうだと予想された試合。

しかし神商大はや、硬くなつたか

技の粗雑さをバクロ、得点される

ことに精神的にも弱化してどうと

う大差で片付けられた。

神商大が前半開始直後得たペナ

ルティ・キックに失敗していなか

つたら気分的にも悪であつて面白

くなつたろうが、その前後の攻勢

をものに出来ず、かえつて19分、

I上柴田に、27分ペナルティで得

点され、全く愛算となつてしまつ

関学、神商大に優勝

関大も京大に順当に勝つ

関西学生サッカー

関西学生サッカーリーグはいよいよ篠

戦

に入り十七日午後一

時から西脇球技場、関

大対東大、関学対神商

大の試合を行い、関

学がそれで勝

った。

関学→神商大

高橋原力で優勝の呼

声高い関学に対し、神商大は技術

的にはまだ不満でも結果の関大に

引分けながら、慶愛さんそ

の奔放さで試合を巧く運べば面白

くなりそうだと予想された試合。

しかし神商大はや、硬くなつたか

技の粗雑さをバクロ、得点される

ことに精神的にも弱化してどうと

う大差で片付けられた。

神商大が前半開始直後得たペナ

ルティ・キックに失敗していなか

つたら気分的にも悪であつて面白

くなつたろうが、その前後の攻勢

をものに出来ず、かえつて19分、

I上柴田に、27分ペナルティで得

点され、全く愛算となつてしまつ

関学→神商大

関学は3分R H三木が飛出して放

った好セントリングからの得点だ

けに終つたのは、折角中盤で優先

球もバスが不正確でみすく相手

に渡すことが多くたゞ先をあせつ

てウイニングを活用することを忘れたためだ。

関学は危な氣なく勝ちはした。

関学は試合の運びは神商大のペース

に引込まれた形で上出来ではな

い。こんなところに平生激しい試

合をしてしないことからくる弱点

が現われるのだ。(大谷四郎)

が、試合の運びは神商大のペース

に引込まれた形で上出来ではな

い。こんなところに平生激しい試

合をしてしないことからくる弱点

が現われるのだ。(大谷四郎)

※ 右ページからつづく

つま味のない立教



司会 立教が東大を破ったあたりは慶應に次ぐいいチームと思えたが……。

竹腰 立夫は肉体的に悪まれて立夫はリーグのはじめといたが、その時コンディションでよく走った。

富本 私はその反対だ。諂ひに乗るチームだ。もちろん肉体的條件伴うが、それ以上に調子が左右するチームだ。

竹腰 肉体的條件の話になると最終日の教大的判断は全く誤った。私は太体つきどその日の成績を判断する。きょうは慶應は体の調子がいい、早大はちよと重いなと試合前の感じが必ず成績に現われるのである。

堀江 立夫の場合だが、非常に猛練習をした割に効果があがらないのは、よい指導者が少ないので立教のために惜しいことだ。

富本 立夫の選手は激しい練習をやっているので、体力は出でて

竹腰 立夫はリーグのはじめと大して進歩を認めないが、早大は一番進歩した。うるさい型が多いせいだ。

富本 立教はもっと醜態的な組合せされやれば「十のものは十の力が發揮されるのだが……」。

竹腰 立夫の一つの例だが、ボールをペースするのに半秒か四分の一秒でやらねばならないのに非常差が大きくなる。たとえば十ヶ敵との間隔があるので、四分一秒球さしきが遅いために敵に突込まれる。ただボンとケリ、ドリブルして走るという大まかな技術はないが、うまさとか高度な技術的要素が欠けている。それと同様なことは慶應についていえる。慶應のナイターのとき

司会 今各チームの実力は戦前と比較してみてどうですか？

竹腰 昔の慶應より弱い。

司会 昨年と比べると……。

竹腰 慶應は去年より強いだらう。

司会 各チームの一般的な

竹腰 私は研究してみたい。私は二十何年前の選手で今と事情は異なるが、練習には試合にて余り研究するなどいた。

竹腰 私は研究してみたい。私は二十何年前の選手で今と事情は異なるが、練習には試合にて余り研究するなどいた。

司会 早大と関学戦の予想は？

堀江 大谷君(本社大阪運動部記者)がこの間来たときに聞いたが、関学は強いチームと試合をしていない、いわゆる強豪たかくつければ簡単にハックが崩れてしまうだろう。関西を見て来た人がそういうのだから関東に歩がある。

(堀江)は小さじけねじましい。

司会 それが東大の命といつたが

富本 私がいつたのは、あれだけなく何か欲しい感じが痛切にした。

司会 中大については……。

竹腰 センターフォアワード

それは、あなた無能な負け方ではない。かれは東大の命といつたが……。

富本 私がいつたのは、あれだけなく何か欲しい感じが痛切にした。それが発揮できなかった。それにはもうと違った練習をやらなければいけないのじゃないか。

(堀江)は小さじけねじましい。一つの定形があつたら負けの(堀江)は小さじけねじましい。それが東大の命といつたが……。

竹腰 私は関西には強いチームがないところでは会津連れてまう。富本 東北遠征を

た達つて来なければいけない。敵

司会 では最後皆さん(東大)が第一位になったので気持があるんで、試合に臨めば今度の慶應戦の精が一番いけないと思う。

富本 川本泰三選手の意方に

なるが、人の美技を見ると自分を細かいところでは会津連れてまう。

富本 東北遠征を

た達つて来なければいけない。敵

司会 た達つてももういから

たが、それが発揮できなかつた。

それにはもうと違った練習をやらなければいけないのじゃないか。

富本 それが発揮できなかつた。

それにはもうと違った練習をやらなければいけないのじゃないか。

富本 それが発揮できなかつた。

富本 それが発揮できなかつた。</

大谷サッカーを観るの巻

去る一日で終った関西学生サッカー・リーグ一部は、神大の意外な健闘不運にたゞられた関大の低調あるいは阪大の一部轉落など、波瀾はあつたが概して順調に関学が

断然なる強味を示して優勝した。本紙は関

生リーグ一位決定戦の予想を極めてみた。

関学以外は弱いFW

総体に動き不足が欠点

関学が優勝したが、予想通りでしょ。ね。

だれも関学とみていた

その強味は?

FWが優れていたことは確かだ、しかしまだ戦前のレベルには達してはいない。

関学に匹敵するFWはなかつたね。

FWの強味、こゝに勝因があるのだが、ことに木村はどうか。

FW木村は、アルゲッタで

アーチャンスメークだったね。

大谷、ペラクスは?

岩谷、ペフクはよそのFWが大

してスピードがないからボロを出

してない。FWがすっと攻めつ

づけたから、たまに攻められ

たときしか防備に立つてない。

大谷、今度のリーグでは神大の

予想外な戦闘と関大の意外な低調

が交つたところだと思うのだが。

播磨、神大はたしかにシープン

前の予想よりよくやった。技術的

に優れて、二位の値打ちはないが、たゞ一試合一試合をまじめにやつた。チームの精神力はいいだね。

大谷、関大戦に勝つたでしょ

う、あの時をやれるといつ自信

を持たせる気がする。

大谷、スカルとか、森脇の点

西學生の指揮に当る慶大先輩播磨幸太郎氏

とアジア大会代表候補選手・早大O.B.岩谷

俊夫氏を招き本社運動部大谷元郎記者を加

えてティ談を試み、リーグの回顧と東西學

生リーグ一位決定戦の予想を極めてみた。

※ 右へ→←へ→←

一番欠けている走力

守りにも積極性をもて

大谷 ところがハイプレーを抱

おうと思ってもまた失敗ばかり出

て来るのだが、ここで一つ共通し

た点があるのである。そして

今後何を誓おうかといふことを。

岩谷 一口に極言するといはばり

ケラなればならぬホールとか、

止めないと決して来るのだから

走るこゝだ。ボクもブレーキと

して感じることだけね……。

大谷 の走りも力を入れてほしい。

岩谷 陸上競技の正しく走り方

を習えと強調しているがやつて

ないわ。

岩谷 積層球によつやく追付

き／走るのではなく、林の方か

よく動いて球をこなしながら自

由に攻めて行くことが大事だ。球

が飛んで、その後を追つて後

から精一ぱいの力を攻撃してい

るから、結局ゴール前で力が足ら

ず体がじきつてしまつて、あと

何をきかんじう感じがする。

神商 大なんかそうだ。だから球

もよく動いたところは関学の

木村だと云つことになる。

播磨 関東のリーグを見て強く

感じるのだが、関西のは九十分間

に走りまわっている量が東京の

木村だと云つことになる。

岩谷 それがWもバックもつと

積極性がほしい。バックは守るに

しても積極的守りがほしい。キ

ックもますい、ハッティングも

ますい、それにコンビネーション

がまたやはり素出来ていない、

あがるとキスがないと運動

量を増す、走りまわることが肝要

だ。

岩谷 これまで非常に形式的

な練習ばかりやつてゐる。だから

大切なことだ。

岩谷 それは本人がうまくなか

い。

播磨 な練習ばかりやつてゐる。

だから大切だ。

岩谷 これまで非常に形式的

な練習ばかりやつてゐる。だから

大切なことだ。

岩谷 これまで非常に形式的

な練習ばかりやつてゐる。だから

アサヒスポーツ

ASAHI SPORTS

12月23日号

昭和23年1月10日 昭和24年2月25日 日本国政府
第三種郵便物認可 鉄道特別扱承認新聞第175号
昭和25年12月23日発行 第703号

発行所 東京本社 東京都千代田区有楽町2丁目3番地 電話(23)131
朝日新聞 大阪本社 大阪市北区中之島3丁目3番地 電話(23)131
編集人 織田幹雄 発行兼印刷人 春海鎮男 西部本社 小倉市砂津字富野口北380番地ノ1 電話 2781

毎週土曜日発行

定価 10円



早大 強引の一点

対関学サッカー、一位決定戦

早大の二年連勝成るか、遠征の関学が優勝を関西の地に持ち去るか、十七日保土ヶ谷サッカー場で行われた東西学生サッカー・リーグ一位対抗の早大対関学戦は今シーズンの王者を決める試合にふさわしく、互角の力量は一点の奪い合いとなつてついに1対1で引き分けになった。写真は前半28分関学のゴール右隅に早大LW松尾がシュートしたのを関学GK松田が一度止めたが、その時早大LW伯井猛烈に躍り込んで早大がリードを奪った瞬間。右からゴールを挙げた伯井、関学LB志井、GK松田、RB三田。

17日・保土ヶ谷サッカー場にて

菅野写眞部員撮影

東京学生サッカーリーグ 大学戦

早大、関学と引分く

雨上りで両軍存分の活躍できず

今シーズン学生サッカーリーグの王座を争う東西

学生リーグ一位対抗早大関学のサッカー戦は

十七日午後一時半から新設の神奈川県保土ヶ谷

のキックオフで開始。まだ雨まつ

ていない新設グラウンドに前夜一

杯たっぷり雨が降ったため極度に

ぬかるむグラウンドは選手の足を

奪つて両軍とも足元を気づかなくな

がらたゞしじほど慎重なスタ

ーを切った。そして球の動き

は小さく、目立ったサイド・チ

ンジも見られず中央線を抜んでの

前哨戦に約十分が過ぎた。

10分早大R.W.桑田のシートが

初めて試みられてからようやく球

の動きも、選手の動きも大きくな

った。

関学は時々両翼から逆襲的早

大ゴールへ迫ったが、L.W.井上の

センターリングが外へ流れ、ある

いはR.W.桑田が中央突破をねらっ

たが最後の縦パスが狂つて決定的

機会を作れず、35分ごろまでは概

して早大の優勢が続いた。

20分ごろ早大は右に三つの連続

CKを取り、25分には左コーナー

近くのフリー・キックから桑田

ゴール前でフリーとなつたがオフ

・サイドを犯さず、いずれも惜

しいところへ終つていた。しかし

前半も半ば過ぎて早大の攻撃は

とうとう実を結んだ。



【開学】田中・藤原・木村・沼田・沼田・桑田・松尾・大井・木辺・高橋・田中・松永・桑田・高橋・青葉・小堀・桑田・松尾

【早大】田中・木村・沼田・沼田・桑田・松尾・大井・木辺・高橋・田中・松永・桑田・高橋・青葉・小堀・桑田・松尾

（主審市橋）

アサヒスポーツ

ASAHI

SPORTS

2月17日号

昭和23年1月10日 第二種郵便物認可
昭和24年2月25日 日本国政府
鉄道特別承認新聞第175号
昭和26年2月17日発行 第711号
編集人 織田幹雄 発行兼印刷人 春海鉄男

発行所 東京本社 東京都千代田区有楽町2丁目3番地 電話(23)131
大阪本社 大阪市北区中之島3丁目3番地 電話(23)131
朝日新聞 西部本社 小倉市砂津字富野口北380番地/1 電話 2781

毎週土曜日発行
定価 10円

S
26
2.
27



勝利への微笑み

アジア大会サッカー代表

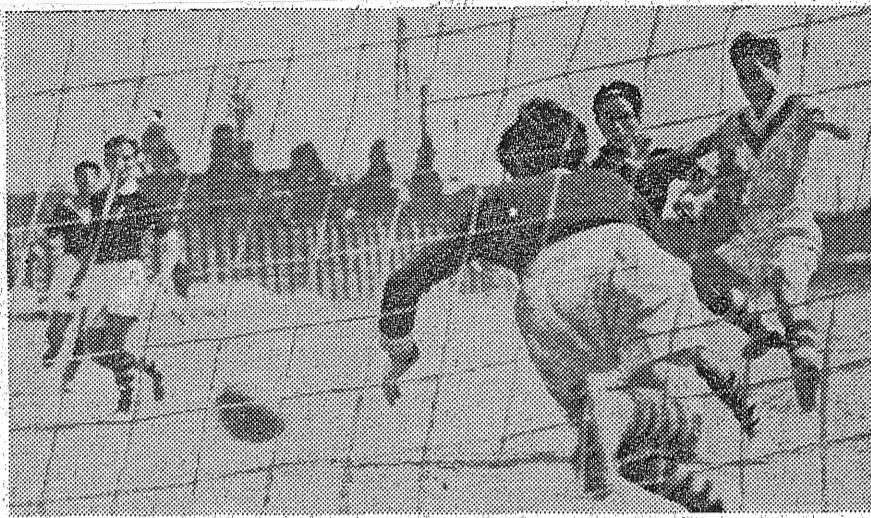
ニューデリーへ、ニューデリーへ。アジアの若人が集うところ凡ゆる愛憎を越えてスポーツ・マンの心と心は固く結ばれよう。われらがサッカー代表も平和の空の彼方へ飛翔を試みようとして合宿練習に余念がない。写真は右から前列加納、二宮(監督) 賀川、二列目田村、宮田、鶴田、三列目松永弟、岩谷、

則武、四列目松永兄、杉本、和田、五列目岡田、加藤、堀口、最後列有馬、津田=十一日大阪スタジアムにて= 野尻写眞部員撮影

全日本実業團サツカ一

田辺製薬の一連勝成る 群を抜く加藤の頭脳的プレー

第四回全日本柔道選手権大会は西宮球技場で三、四、五、六の四日間行われたが、関西代表田辺義泰が二年連続優勝をとげた。



は好試合で、ことに東洋対田辺の準決勝は最も見応えがあった。東洋は練習をよく積んだ跡がみえ、一人にアマながなく、盛んな闘志と優れた体力で鋭い出足をみせ疲れを知らないかのようによく動き、まず豪邁の三共を危な氣なく破り、ついで田辺に堂々の試合を行つたのは最も称讃したい。その3FBとGK下村の活躍は目立つたが、田辺のハーフと両インサイドの持つ中盤の優秀なギーピ力に抗し得なかつたといえる。

三共は東洋に対して前半は互角に戦つたが後半にバックスが東洋FWのつぶしに負けた。東洋とともに強い印象を与えたのは茨城県立で、田辺に対し二つのPKをものにして前手をリード、これも激しい動きで田辺の強攻をくち食い止め延長戦にもゆすらず惜しくもクジで負けた。やフ・アル味のプレイが多かつたし、試合中の言葉にフュアでないものがあつたが、その活動量は買ってよい。日立はクジ運にめぐまれ比較的楽に決勝へ残つたが、FWに人をそろえながら鋭さに欠けて田辺からゴールを奪えなかつた。CF松永がRW岡本へのパスをうまく使えたならばチャンスは増えただろう。

が強みだった。決勝戦では R.W. 鳴田、R.I. 賀川のコンビで日立本社左サイドのバックスを振り回してチャンスを作った。賀川のキープ力と富田、岡村のサイド・ハーフの強豪さは田辺優勝の大きな力ではあったが、C.H 加藤は金出場チームを通じ最も確実で味のある頭脳的のプレイをみせて断然光っていた。

そのほかトヨタ自動車は田辺と頬を含めて止むを得なかったが、よくまとまったチームだ。ただスケールが小さい。日本ダンロップは日立本社に対し技術的に開きはあったが、その長身のバックスが技術では数等上の日立本社FWを簡単に抜かせなかたことは教えるものが多い。八幡製鉄は大阪府よりよい動きをみせたが、大阪府選手CH南木を抜き切れなかつた。

一般的に技術と動きの量は向上しており、こゝ二、三年の学生リーグよりは充実した試合がみられた。昨年度にもうその兆しがみられたことだが、従来の審査団チームの特徴だった、少数の中選手にリードされどちらかといえば技に頼る型では対抗出来ず、ぐんと拡大された運動量の上に全員もテクニックをそろえなければならなくなったことは今大会をみて明かとなり、審査団サッカーという分野もいよいよ本格的な軌道に乗り始めたといえる。ことに最も活躍した東洋工業・茨城日立がいわゆる中央の検舞台を踏んだ経験者たゞ一人しか持たないチームであることは必ずしも大学出身者などの既成選手に頼らなくても十分道は開けていることが判る。(大谷四郎)

慶大、明大を制す

関東大学サッカー

の教大対東大、立大対中大、慶大

対明大の三試合は二十日午前十時
から神宮競技場で行われたが、教

大、立大、慶大がそれぞれ勝ち

慶大は早大を敗った余勢をかうる

大の因縁を退けて、ひとり堅実に

優勝街道を急進している。

教大 4-2-1-0-1 東大

岡清沢 沢木本 須崎良輔

富輪原川原氏沼井野条本

吉田三石海安紫鶴岡中藤

【東大】

立大 4-2-1-0-1 東大

岡清沢 沢木本 須崎良輔

富輪原川原氏沼井野条本

吉田三石海安紫鶴岡中藤

【東大】

立大 4-2-1-0-1 東大

岡清沢 沢木本 須崎良輔

富輪原川原氏沼井野条本

吉田三石海安紫鶴岡中藤

【東大】

立大 4-2-1-0-1 東大

岡清沢 沢木本 須崎良輔

富輪原川原氏沼井野条本

吉田三石海安紫鶴岡中藤

【東大】

立大 4-2-1-0-1 東大

岡清沢 沢木本 須崎良輔

富輪原川原氏沼井野条本

吉田三石海安紫鶴岡中藤

【東大】

立大 4-2-1-0-1 東大

岡清沢 沢木本 須崎良輔

富輪原川原氏沼井野条本

吉田三石海安紫鶴岡中藤

【東大】

立大 4-2-1-0-1 東大

岡清沢 沢木本 須崎良輔

富輪原川原氏沼井野条本

吉田三石海安紫鶴岡中藤

かにPKで奪取を免れた。

慶大 6-4-2-0-2 明大

高岡口本橋井浦勢木島

相手赤山杉高新松能村豊

GFB H B FW P K K K

木田竹代岡川島潤木松

茂士長嶽松荒星若跡重

井竹代岡川島潤木松

木田竹代岡川島潤木松

茂士長嶽松荒星若跡重

井竹代岡川島潤木松

明大、立大を破る

早大、教大に辛くも勝つ

村がやつと間に合って責めがゆ

るみ端は明大木にコールを奪

われたあたり“氣分のチーム”を

東大対中大、早大対教大の

三試合を繰り行、明大は強敵

立大を倒し、中大また名門

東大を下す番狂わせを演

た。これで上つなはる慶大のみと

共に2勝1敗で有力な一位候補

となってきた。

関東大学サッカー
立大 4-3-1-2-2 立大

吉岡口本橋井浦勢木島

相手赤山杉高新松能村豊

GFB H B FW P K K K

木田竹代岡川島潤木松

茂士長嶽松荒星若跡重

井竹代岡川島潤木松

関東大学サッカー
明大 4-3-1-2-2 明大

高岡口本橋井浦勢木島

相手赤山杉高新松能村豊

GFB H B FW P K K K

木田竹代岡川島潤木松

茂士長嶽松荒星若跡重

井竹代岡川島潤木松

茂士長嶽松荒星若跡重

竹村がPKを右に逸して4-3に下がこれを返し1-1とした時、さらに4-1となつてから、早大対教大戦後半分、早大陣イギル前で教大FW山中ヘッドで攻められたもゴールを逃す

四分のキーパー力しか示さずにつた。

四分のキーパー力しか示さ

定評の紳士的ブレ

日本蹴球協会(朝日新聞社後援)の招致で今月二十一日スウェーデン

の「一流サッカー」チーム、ペレ、シングボリュ、クラブが来日。我が國のトップチームと招待し、年春以来十二年ぶりの国際試合を行ふ。協会から発表された試合会場スケジュールは次の通りで、現在日本サッカーリーグの実力はスウェーデンを一回戦で3-2で破った。ルリン・オリビエ・ピック、當時にはちるが、国際復帰に續進していく。日本サッカーリーグの実力がこの強豪を迎えてどんな戦いぶりを示すか興味は大きい。以下スウェーデン・サッカーリー界の現況と来日チケットを紹介して見よう。(大橋 正路)

スウェーデンのサッカーは本場イギリスを凌ぐほど盛んである。協会は一八九四年に生れ、現在は六階級に分れており、その構成は第一級「チーム」、第二級「チーム」、第三級「チーム」、第四級「大チーム」、第五級「三百チーム」、第六級「大百四十チーム」で、第一級のナショナル・リーグの勝者がスウェーデン選手権を争うが、このリーグ戦には毎年五百万、一試合約一万千の観客を集め。このほか六、七月になると、このリーグ戦には毎年五百万、一試合約一万一千の観客を集める。このほか六、七月になると、このリーグ戦には毎年五百万、一試合約一万一千の観客を集めて精鋭「王」チームを組み、「ズエーデン・カッズ」等々大金を稼行するが、これはあまり人気はない。

テグナーフ長(ミ)　第一回　多豊所の延家とクム二第一
者界の元老。若いころ三段跳の選手。
リーバーク副園長(ミ)
ロモータ。世界の四
歴訪し世界のスポーツツ
いる。スウェーデンハ
連盟監督長と国際ハン
盟の会計も兼ねていて
マホージヤー、エズ

ストック ホルムの イドロツ ツブラヂ ツト(ズ ボーツ新 デニ運動記 ボヤリ投	四) 老練ズ ボーソ記 者。過去 二回極東 サッカー	十三カ国を 界に通じて ドボル連 遠征のブ	手として三十一 場、パリ・オリ ー出た。当時ベツ エーテンの評	をつけた選手は 家。 トレーナー、	コーチ、クル
アの会計。 ロンドン。オリ	キルゾン(日 也ヘル シングボ リリュ港 務部会計 官。元リ アの会計。	ウエーブン屈指 GK=K・ス	の事務所 の事務所	の事務所 の事務所	の事務所 の事務所

ハンボルム(西独)市公費。クラブ監督。名前、カットで必ず引っぱる手腕。一派自ら三年にかけて、ウェーデン代表選出。シンドック大会に出場した。現在はスウェーデンの名トレーナー。

選手。アーヴィング・ダーリングは、次のように述べた。
「彼の長い長いバスは、必ずしも敵のバスとは言ふべきではない。しかし、彼のバスは、必ずしも敵のバスとは言ふべきではない。彼のバスは、必ずしも敵のバスとは言ふべきではない。彼のバスは、必ずしも敵のバスとは言ふべきではない。」

将来を期待されている
よし。事務員。
RW ベンケツソーン
インガ。左右両足冠
トが利き敏しようでな
られているフオアワーリ
R J パーソン(=)
技流秀でまた上手。動
シングは驚くほど手早く
デンの名インナーの
CFJウエスティルバ

(三) 昨年四国国際試合に出場スウェーデン選手の名前もシエントラウトとも恐れられた。ペーティー、チーム中華番組さくばえのあだ名がある個人ヘッティ・スクエア。織物工人。ハーブ(ミ)。今年スウェーデン代表選手に選ばれ期待され店員。

デン代表選手。スコアで
五妙が争う。
ウエーデンであつ
と頭脳あらわしてゐる。事務員。
・ニルソン(セザーチ)
ム中の年少者。今
年リーグ戦に出た
新人大が
ユーテンが誇った名良
ソンの「代目の評を得
達でバスがうまくてダイ
コートの巧者。学生。
→G・ニルソン(セザーチ)
若いがリ
ク戦で
好評を博
している
好オア
レーヤ。ペトロ
夫大吉いがよく動画女ツ
またシヨードもあまり。

「ナギ、エーラードの人は今ミテ指導している。そのほかミギスらもゴーチをよんでもレベル向上を計った。第1次大戦に巻き込まれなかつたエーラードは段々強くなり、ドイツ代表軍を1-2、ハンガリーを1-2で破る大勝を記録した。

手の数は二十四手。三百ドル以上引分けた場合はいい好条件だが、プロはまだがこんなにもスウエーデンではなく、全部持ち、仕事を終から練習をして三回、約二時間。試合に勝つ手はリーグ一試で50クローネ円を支給され、毎日30クローネシケズンは四

買われてしまつ
外国に賣われた選
人に達し、彼は
万五千ドル、月給
さうに勝つた時と
ボーナスが出る事
らだまらない。
つもない
サッカーが盛んで
にはプロ、チーム
マヂュアで職業を
つて午後四時ころ
いる。これも一週
間すつぐらいであ
うが、引分けよ
か出ない。たゞ選
合に對し手當し
(邦賣約三千五百
、また遠征の場合
ネが与えられる。
月に始まり十一月
征してい
最近の主

シングボーリーは、クラブの南端にある港水浴場として有名な同ヘルシンクボーリ市(二千)にあり、一九〇八年れた。メンバーは四百五十六人で、第一級リーグに属する。アーヴィング・クラップドは「ボーリンピア」と云々で優秀なグラウンドをわれている。クラブナル・リーグで五回優勝している。昨年は三年にはほかのクラブにしていないリーグと力行われ、一年は極東部はヨーロッパ南部へ遠

エバートン(英プロ) 2-1-1勝
トナム 1-2-3勝
ユーロ 4-3敗、トルコ 1-1分
ザンブトン(英プロ) 2-1-1勝
エバートン(同) 1-0勝、ヴ
トランク 1-1分
ヨーロッパ 1-0勝
オーストリア 4-0勝
ユーロ 6-1勝
来征チームには7人の国際試験
経験者を有し、特にロンドン・
リンピックに優勝したギーハー
スヴェンソンとRBのマルムが参
戦。ロームの二人がゴールにがんば
っているから日本軍の苦戦は免れ
ない。チームはヨーロッパ・サッ
ク界で非常に多いな、正確な
ソットボールをやるチームとして
られており、極東遠征でもその
派な紳士的プレーは高く評価さ
れていた。好評を博した。戦法はダイレク
・ペースにシート・ペスを多用
するスコットランドとオーストリ

テ事トれ立知ヲカミテの才答 エサト

レ
一

選手がボランティア

五尋の長距離をかけトルマツサージで身体をつくる
ルをけるのは一月の終りより
三月初めから練習試合を多くはまだ雪中か寒コンボンのフィールドで行われ
ンの年月の更替

卷之三

初めまで続く。十二月から一月にかけては寒さがひどいので行われない。新シーズンへの練習は一月半ばかりはじまり、体操、二十分から

紹介するに次第の通り。

勝勝

S26-11-3

群を抜いた浦和高

一般チームは低調

一般では美大阪が決勝戦にゴルフで敗れた。他のFWも期待された得点力に銃がなく開学クラブが主体の全兵庫に三年連勝をばしまれた。GKが弱かつたことが得点力を大きくさせた原因であるが兵庫は大阪のゆるいテンポに引込まれず後半に大阪バックスの弱点をついてゴルフ前をゆさぶったのが成功した。なお志太クラブがWMW(東京)に対松永の好リードとワインのスピードで延長戦の未完勝したのは見事だった。

高校では広島国泰寺に抽選で勝つた大坂二国丘が埼玉浦和を苦しめたが浦和の優勝は実力の結果でことにFWのパスワークは大会中群を抜いておりゴールが今少しふと加えれば現在の高校級でFWを無敵のラインとなるであろう。

金競の今年はとくに進歩が見

られた浦和高校を除いては停滞していた。WMWが技による限界を現わして敗れたのも一般の部の興味を少からず失った。(大谷四郎)

サッカー 開学

藤原高

府一

甲府一

和5-1 東京北園

【準決勝】 大阪二国丘1-1(抽

勝) 広島国泰寺△浦和4-0 甲

府一

和5-1(0-0) 0 三國丘

【決勝】

(瑞玉) 2-1(1-0) 0 国泰寺

【準決勝】 大阪二国丘1-1(抽

勝) 広島国泰寺△浦和4-0 甲

府一

和5-1(0-0) 0 (大阪)

【決勝】

(瑞玉) 2-1(1-0) 0 (大阪)

【全大阪】

形木田藤村川村谷田木場

生瀬岡井杉山村木場

山南富加西賀木岩和

10371

G K F H B FW G C F P K K K K

関学

兵庫開學△6-1 岩手サッカーチーム

【決勝】

(兵庫) 5-3(1-1) 2 全大阪

岩手サッカーチーム

【準決勝】

全大阪 6-1 静岡志太

サッカーチーム

兵庫開學△6-1 岩手サッカーチーム

【決勝】

(兵庫) 5-3(1-1) 2 全大阪

岩手サッカーチーム

(第6回国民体育大会記録)

大会記録

府一

和5-1(0-0) 0 三國丘

【決勝】

(瑞玉) 2-1(1-0) 0 (大阪)

【準決勝】

全大阪 7-1

0名古屋サッカーチーム志太

7-1(0-0) 0 (大阪)

【決勝】

(瑞玉) 2-1(1-0) 0 (大阪)

【全大阪】

形木田藤村川村谷田木場

生瀬岡井杉山村木場

山南富加西賀木岩和

10371

G K F H B FW G C F P K K K K

関学

兵庫開學△6-1 岩手サッカーチーム

【決勝】

(兵庫) 5-3(1-1) 2 全大阪

岩手サッカーチーム

【全大阪】

形木田藤村川村谷田木場

生瀬岡井杉山村木場

山南富加西賀木岩和

10371

G K F H B FW G C F P K K K K

関学

兵庫開學△6-1 岩手サッカーチーム

【決勝】

(兵庫) 5-3(1-1) 2 全大阪

岩手サッカーチーム

【全大阪】

形木田藤村川村谷田木場

生瀬岡井杉山村木場

山南富加西賀木岩和

10371

G K F H B FW G C F P K K K K

関学

兵庫開學△6-1 岩手サッカーチーム

【決勝】

(兵庫) 5-3(1-1) 2 全大阪

岩手サッカーチーム

【全大阪】

形木田藤村川村谷田木場

生瀬岡井杉山村木場

山南富加西賀木岩和

10371

G K F H B FW G C F P K K K K

関学

兵庫開學△6-1 岩手サッカーチーム

【決勝】

(兵庫) 5-3(1-1) 2 全大阪

岩手サッカーチーム

【全大阪】

形木田藤村川村谷田木場

生瀬岡井杉山村木場

山南富加西賀木岩和

10371

G K F H B FW G C F P K K K K

関学

兵庫開學△6-1 岩手サッカーチーム

【決勝】

(兵庫) 5-3(1-1) 2 全大阪

岩手サッカーチーム

【全大阪】

形木田藤村川村谷田木場

生瀬岡井杉山村木場

山南富加西賀木岩和

10371

G K F H B FW G C F P K K K K

関学

兵庫開學△6-1 岩手サッカーチーム

【決勝】

(兵庫) 5-3(1-1) 2 全大阪

岩手サッカーチーム

【全大阪】

形木田藤村川村谷田木場

生瀬岡井杉山村木場

山南富加西賀木岩和

10371

G K F H B FW G C F P K K K K

関学

兵庫開學△6-1 岩手サッカーチーム

【決勝】

(兵庫) 5-3(1-1) 2 全大阪

岩手サッカーチーム

【全大阪】

形木田藤村川村谷田木場

生瀬岡井杉山村木場

山南富加西賀木岩和

10371

G K F H B FW G C F P K K K K

関学

兵庫開學△6-1 岩手サッカーチーム

【決勝】

(兵庫) 5-3(1-1) 2 全大阪

岩手サッカーチーム

【全大阪】

形木田藤村川村谷田木場

生瀬岡井杉山村木場

山南富加西賀木岩和

10371

G K F H B FW G C F P K K K K

関学

兵庫開學△6-1 岩手サッカーチーム

【決勝】

(兵庫) 5-3(1-1) 2 全大阪

岩手サッカーチーム

【全大阪】

形木田藤村川村谷田木場

生瀬岡井杉山村木場

山南富加西賀木岩和

10371

G K F H B FW G C F P K K K K

関学

兵庫開學△6-1 岩手サッカーチーム

【決勝】

(兵庫) 5-3(1-1) 2 全大阪

岩手サッカーチーム

【全大阪】

形木田藤村川村谷田木場

生瀬岡井杉山村木場

山南富加西賀木岩和

10371

G K F H B FW G C F P K K K K

関学

兵庫開學△6-1 岩手サッカーチーム

【決勝】

(兵庫) 5-3(1-1) 2 全大阪

岩手サッカーチーム

【全大阪】

形木田藤村川村谷田木場

生瀬岡井杉山村木場

山南富加西賀木岩和

10371

G K F H B FW G C F P K K K K

関学

兵庫開學△6-1 岩手サッカーチーム

【決勝】

(兵庫) 5-3(1-1) 2 全大阪

岩手サッカーチーム

【全大阪】

形木田藤村川村谷田木場

生瀬岡井杉山村木場

アサヒスポーツ

ASAHI SPORTS

12月1日号

昭和23年1月10日 第三種郵便物認可
昭和24年2月25日 日本国鉄道特別扱承認新聞第175号
昭和26年12月1日発行 第752号
編集人 富永正信 発行兼印刷人 春浦謙男

発行所 (東京本社 東京都千代田区有楽町2丁目3番地 電話(23)1311
大阪本社 大阪市北区中之島3丁目3番地 電話(23)1311
朝日新聞 西部本社 小倉市砂津字富野口北380番地ノ1 電話 2781

毎週土曜日発行
定価 10円

S
16
12
1



津田の奮戦に危機を脱す

スウェーデン対全日本サッカー

すばらしい技とスピードを織りませて観衆を魅了するスウェーデン・サッカー・チームのヘルシングボーリュは11月25日西宮球技場で全日本にも快勝した。その前半20分、ヘルシング

ボーリュは左CKを得て絶好のボールを送ったが、全日本軍のGK津田は思い切ったパンチでこれを防ぎ、危機を脱したスリルに富む一瞬、各プレーヤーの表情は真剣だ。(競り合るのはL I ヨンソン、GK津田の向う側はCH松永、手前はRH宮田、2番はRB加藤)

ボールは写真手前から飛来し向う側へはじかれているので、GKの手のかげにわずかに見える。

岡崎写真部員撮影

浦和高優勝

第三回 全国東高校サッカーは、十三日から三日間藤沢市で舉行、浦和高が優勝した。浦和と宇都宮の決勝は、宇都宮一元気にして九分、浦和陣で反則をとり、PKを池田きめて「卓先



取したが、その後は浦和に押され
三十分、浦和OKをものにして同
点にしてから八分の球をキープ。
後半はほとんど宇都宮陣で戦を進
め六分、十二分と連続得点し、そ
のまゝ押し切った。CP吉田、し
I倉持、IW石田の活躍は特に印
象が深かった。

原田	幸洋	原田	幸洋
田	田	田	田
笛	原	出	原
G	山	山	山
K	地	地	地
B	井	井	井
F	田	田	田
H	平	平	平
B	水	水	水
	13	13	13
	1	1	1
丸村	菊細	小金湯	山泡
宇都宮高	小清	山	池

【浦和高】

アサヒスポーツ

ASAHI SPORTS

毎週土曜日発行

昭和23年1月10日 昭和24年2月25日 日本国有
第三種郵便物認可 鉄道特別級承認新聞第175号
昭和26年12月8日発行 第753号
編集人・富永正信 発行兼印刷人・春海誠男

発行所 東京本社 東京都千代田区有楽町2丁目3番地 電話(23)131
大阪本社 大阪市北区中之島3丁目3番地 電話(23)131
朝日新聞 西部本社 小倉市砂津字富野口北380番地ノ1 電話 2781

定価 10円

12月8日号



ゴール前の緊張

シュート寸前のヨンソン選手

のを巧みにボールを浮かしてタックルをはずし、シュートに移ろうとするところ。眼は鋭くすでにゴールを射抜いているようだ。なお黒沢の左手はヨンソンの右手を捉えて反則だが、得点となつたため主審のホイッスルは吹かれなかった。

スウェーデン対全慶大サッカー戦

1日・大宮競輪場にて 中井写真部員撮影

S
26
12
8

首位決定戦特集

加納のワ ンゴール 早、慶大を破る

腰だけが左へ逸した。かくて試合は0-0のまゝ1分に終ると見えたが39分自陣で慶大のフリーキックをクリアした卓大は逆襲に出、LW中野の大きなクロスペ

卷之三

出で　VV中野の万葉がノロアハ

関東大学ナシナリ
リーグ戦最終日は
九日午後零時半から

大 1
1 0 0 0 麗 大

「返せばOOF加納がシート」決勝の一点をあげた。

大學一力東関サ

・リーグ戦終日は九日午後零時半から神宮競技場で六千のファンを集め立大対教大、早大対慶大の一試合を行。王座

「返す手はO・F・加納がシュー」と、決勝の一点をあげた。

決定の早晩戦は大接戦となり、早大がタイムアップ間際 OF 加納のゴールで「一点をあげて」で優勝候補最大を破る番狂わせを演じ、ついに早慶は「勝一敗」の同成績で首位は同率となり改めて一位決定戦を行うことになった。

井茂子長黒松南竹昌右鈴重
評 快晴無風の好コンディションで慶天のキックオフで開始。慶天FWは鋭い出足と巧みなパスワークで早大陣を圧倒、7分C.F.嘉潤のショートは早大ゴール右ポストをわずかに外れ、8分右K.の好機には岩淵がフサイドをさら惜しい逸機となる。
早大FWのパスワークはコン

＊バックを意したエマーは大きかった。それにしても慶太FWが早大の12に対し倍以上の27のシートを記録しながら一ペんも早大ゴールを攻略し得なかつたのはシーティングが早過ぎたことにあつた。今二、三歩持つて放けばもう効果的だつたろう。

さらに早大の勝因に光つたのはバックスの健闘だつた。青木、渡辺両フルバックスの忠実なマーケットを敵なつぶし、アーウルこそ多かつてが頭を下さうしてドリブル暴揚

The grid contains the following symbols:

- Box 1: ○○○○○○
- Box 2: X○○○○○○
- Box 3: ○X○○△○
- Box 4: ○○X○○○○
- Box 5: ○○○○X○○
- Box 6: ○△○○X○○
- Box 7: ○○○○○○X○

Below the grid, the numbers 114445 are written.

てからまた奮戦したG.H.山路のブレーなどは印象に残る。両軍の善戦はシープソン最後をかざる好試合となつたが、再度の首立決戦(後)

慶早明立中東教敗

は何んに凱歌が上るか興味深い。

異かたじ難いだとか、併小田島西インナーの懸命な動きで、11分から25分まで廣大陣右に連続三つのコーナーキックをつかむ好投。

R.I 小田島のバーを越したヘッド
イングのみが見られたものだつ
た。さらに内分には慶太陣中喫石
からうじて白井がアソブ

トでねらつたらが慶大 GK 茂木のパンチで阻まれた。以後は慶大盛り上がりを発揮早大ゴールに連続ショットの雨をそそいだ早大が

ツクスの好防に会つて空しかつた。

けたが、右へはじいて逃し、さら
に15分まで慶大陣左右に三つのコ
ーナーキックを得たがヘッドイン
グをまらすいたずらに慶大ゴール

前をさわすのみに終った。
慶太も25分E島竹島の右からの
ショートはバーをわずかにオーバー
し、また33分にはL1鉛木のバ



早大の二連勝成る

優勝決定戦 慶應拙攻に敗退

五勝一敗の同成績となつて、優勝決定を持ち越した関東大学サッカーリーグの早慶試合は、十六日午後神宮競技場で行われた。試合開始間さわになつて、怪しげな雲がおゝりがぶさったかと思つた。陣の突風が起つて、チラリ初雪が舞うなどあつた。慶應も次第に和らぎ、球場も湿り気が全体において適当と思われた。慶應の勝利を適当とされたこの前の試合も早大の奇勝となつたので、この日もまた慶應に歩くある試合という見方が多かった。

関東大学サッカー

結果して14分ごろRW竹島がクリーン・シートして慶應が先取点をあげたので、この得点が勝敗を決するかと思われたが、この前の試合に比べると内容は粗雑で低調で、案外伊調の繊細になるかと思われたが、慶應が先取点をあげるかと思わぬが、この前の試合で、得点は再転じ、三組はたつもで、キックオフは奈良北長黒松竹早鈴重【慶大】評、慶應が風上、早大のキックオフで開始、慶應はRB十井田、木島竹沢、岡角島、川淵木松【慶大】

早 大	2	1	0	1	慶 大
G K F B	H B	F W	C K F G K	C K F G K	6 9 17
木 島 竹 沢	岡 角 島	川 淵 木 松	3 4 16	17	1
佐 藤	高 山	長 春	泰 小 加 伯 加		
井 木 邦 路	井 田 納 井	計			

これが早川のカヴァーが妙

前半終りころ最端の左前遠球を鉛

木が流して重松にとって得点機

のこの失は痛い一つであった。

また、後半25分ごろから右コ

ナー・キックを早川が回して重松が

ヘッディング・ショートしてアワ

トとなり、両角の好差球から作

られたチャンスなど右左から早大ガ

ル攻め立て五本のショットが數

えられたが、単調な攻撃になり、

徒らに焦って強攻を試みたに過ぎ

ないものであった。これに引きか

え早大は28分ごろ、青木がロング

ショートするなどの大きな試合

の運びなどがあつてから、強攻の

すえ森田が強いボールを放ち慶大

B-B北島のリターン・キックが味

方に黒沢に触れたまゝゴールして

いた。これが森田の得点

位置がよくそれに強いボールで防

ぐには手のないものゝようであつた。

これが最後まで続いた片戦であつた。このような弱目に立った場合

の試合としては、無理もない力チ

カチの試合であり、得点で変化を

見せ、早慶戦のブレイクを盛つた

ようなものであつた。

慶應のFW練は、前試合のよ

うに、巧い突っ込みを見せる歯

切れのよどよどコンビを欠いてい

た。これに引きかえ早大は、拙い

寄せの中でも、伯井の動きに頼が

つた。これが早大の得点であつた。

先取点をあげるまでに重

松、岩淵と相続いたが、サブida

は、早大守備の弱さといより

は慶應FW線の不運を物語るもの

であった。片戦の中に均衡を破つた竹島の得点は堂々たるものであつた。

これが最後まで続いた片戦であつた。このような弱目に立った場合

の試合としては、無理もない力チ

カチの試合であり、得点で変化を

見せ、早慶戦のブレイクを盛つた

ようなものであつた。

これが最後まで続いた片戦であつた。このような弱目に立った場合

の試合としては、無理もない力チ